

春休みにおける研究発表

釜ヶ崎 男女 相関関係

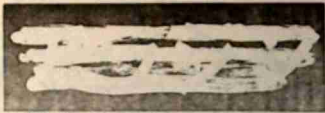
えらい題やなあ。と付けた当人もビックリ。中には左側のピラを見て、議事前から胸ワクワク、ムスコ、ギンギン、てな人もいるかも知れませんが、実はそうではないのですわ。

三月末日、渚世の集會を一度、酒場までマジメにやってみようと南区の喫茶店で待ち合わせをし、日野、田中、私の三人は連れだつていった。

七八年前に長坂にある

会社に勤めていたことがあり、左側の略図の高たりもよくうらうらうしていたので、目先手店はすぐわかつもりだつたのですが、中々にみつからない。

キョロキョロしていると、中肉中筋、ムスコ、マア、ちよこいせらりどうなのおとさんがス、と寄つてきて、ピラを呼ぶのだが、實話で紹介されたのはうしろの店ですよ。ソファーもフカフカやし、七千円を出してでもうたら堪能かでもらえませよ、と一編に歩きながら宣伝文句を並べたてる、「ホラ、ここ、



ここまがって、見えるでよ。あの店、ついつらられてまがると、なにやらギンギラギン、ハロがもつて、い

「せいのいリアニイが二人、ソサア、ハッオッブリしていき、週刊実話で評判の店はここよ、大声でめめく、

日曜・祭日 3:00 オープン



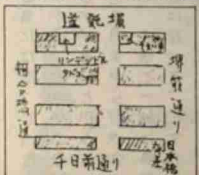
●●**手抜き工事なし。ムスコもなぜか超特急。**
●●**辛抱タマラン。**
●●**お部屋中名器揃い。**

この券持参の方に限り

1,000円 割引きします

ビール・ウイスキー 飲み放題!!

PM 8:00 まで ¥2000
PM 8:00 過 ¥3000

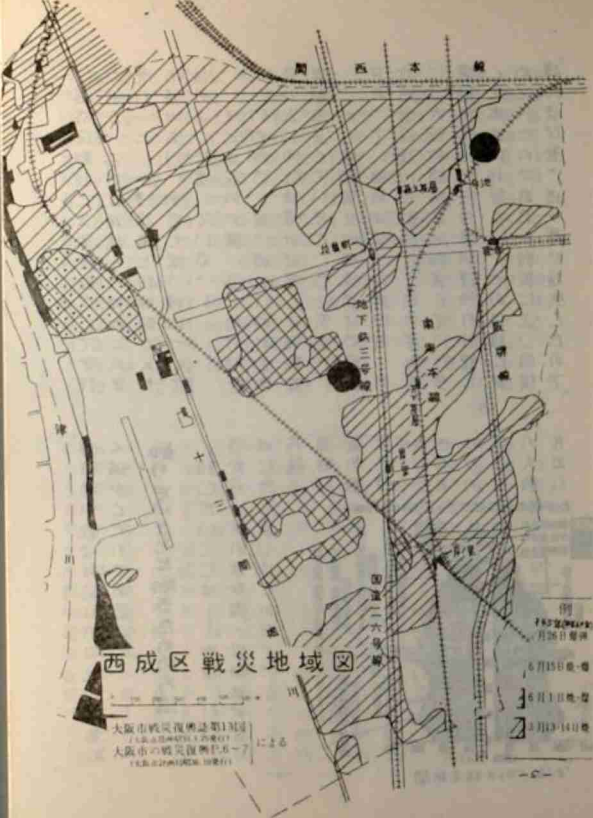


しかし、七、八年たつと変わるも
んで、以前は、割烹とかスタン
ドバー、スナックといった店ばかり
だったのに、今や大劇軒近の感じ。
人毛町老時の流れと共に移り変わ
る。今、住んでいる釜ヶ崎も例外で
はなれらう。

戦後すぐに、三島公園で鉄輪の豆
券を売っていたというおばちゃんか
「こらへんぞ、昔はこんな男の
人は多いことなかつたし、萩之茶屋
商店街も今みたいだ、立ち飲み屋な
かつた、オモチャ屋も洋服屋もあつ
たし、普通の商店街とかゆねへんか
つたで」と釜の昔を話していた。
いつから、男の単身者が目立つ街
になったのだろうか。

前々から気にはなっていたのだが
中々とりかかることができなけり
た。ところが、幸いというか、不幸
というか、三月末からパッタリ仕事
がなくなり、子供と一緒に春休み、
ということになって、ヒマでヒマで
体を持てあましてしまつた。

そこで、手持ちの本をひっくり返
したり、区役所に行、たりして資料
を集め、日産労働者のよきなくさ
れた春休み期間中における大研究の
発表ということになった。
左頁の回は、西成区史。にあつ
た、第二空戸台風による西成区浸水
地域図と、西成区戦災地域図を
重ねあわせて作成したもの。
「萩之茶屋のほとんとは焼けている



「西成区創設二五年を記念して発行された。西成区政誌。(昭和二六年発行)に、浮浪者と行状死亡人の項があり、震災と釜ヶ崎については次のように書いてある。

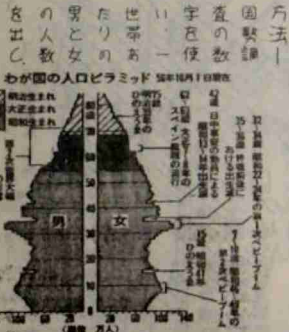
「もと本区内の東・西入船町附近は、いわゆる釜ヶ崎といわれ全国各地よりの浮浪者が集集して特殊な異観を呈していたところである。

これら無職者を收容保護する目的を以て、昭和四年二月東田町に市立今宮保護所を創設し、同九年七月には大阪政護協会が経営していた今宮簡易宿泊所を今宮保護所の分館として本市に移管して、その保護に努めてきたのであるが震災により同保護所及び釜ヶ崎一帯が焼失したので

「浮浪者の数は震災以前に比して著しく減少したのである。」

「知りたいことと知るための方法」

「知りたいことは——戦後、いつころから、男の單身者、労働者が釜ヶ崎に多く集りはじめたか。



昭和二十二年三月三日現在

「相関表を作成して、比較する。

「因勢調査は好きでもなく、私自身調査票を出していないこともあって使うことのためにいろいろあるけれども、大勢を知ることができるといふ便利さに、この際、負けてしまふ。

「一世帯あたりの男と女の人数の比較をおこなう理由は、前頁の人口ピラミッドを見ても判るよ様に、人間も動物だから、種族保存のために、男と女だいたい半数ずつ生まれて死んでいく傾向があり、一般的には、男と女が世帯を持つというのが普通とされてゐるが、釜ヶ崎、あるいは塚田はどうではなく、そのことは、細い地区に分けて比較すればよりはっきりするだろうと思われぬから。」

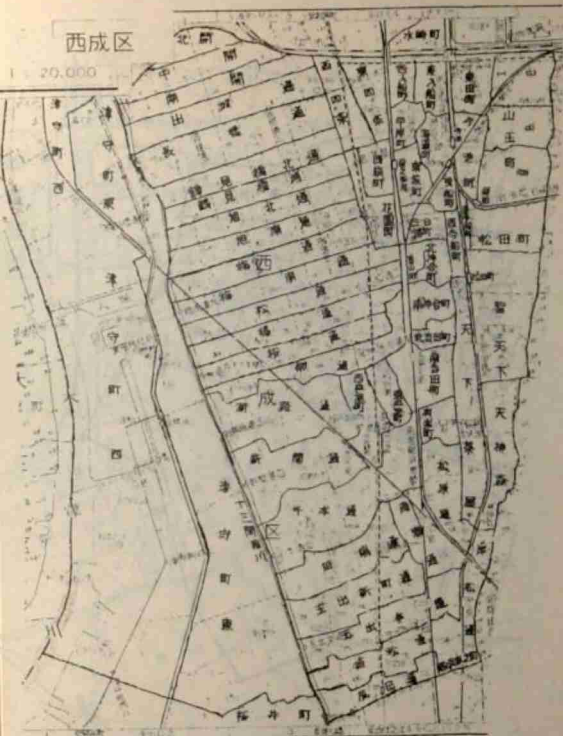
「日本全国の平均世帯規模は一九二〇年から一九五五年までは、四・九人を中心になすかの幅で上がったりがたりとしていたが一九五五年以降現在まで下がりが続けている。

一九五五年	四・九人	二の位下
一九六〇年	四・五人	は三人内外
一九六五年	四・一人	が限度で、
一九七〇年	三・七人	欧米の例から

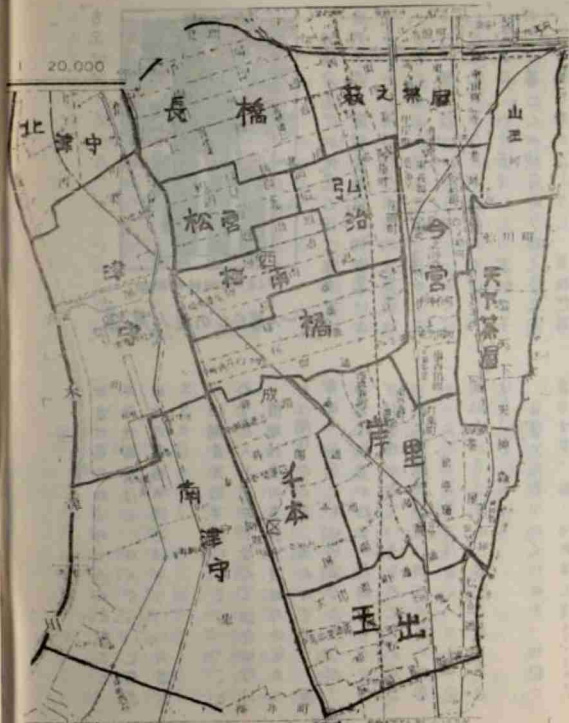
「それらのことを視覚的に前よりかにするために作成したので、一世帯あたりの男女人数相関図表だ。」

西成区

20,000

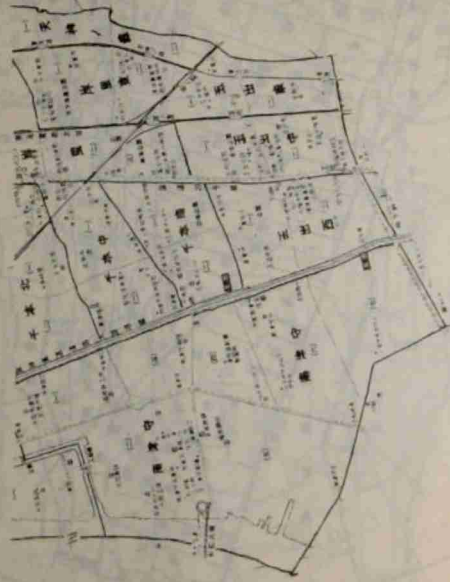
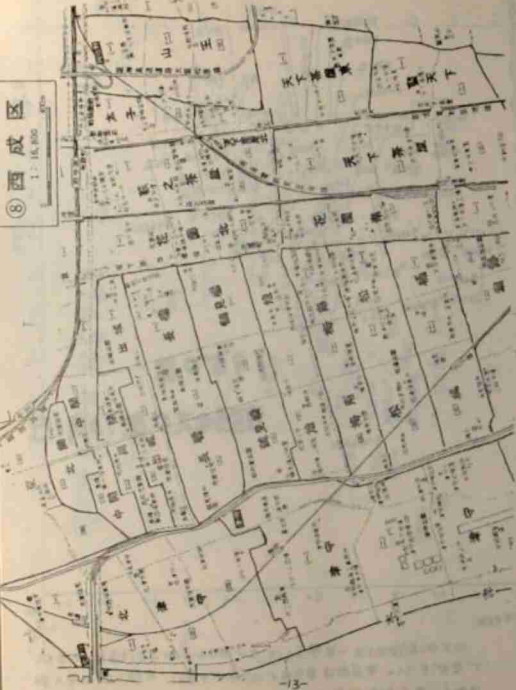


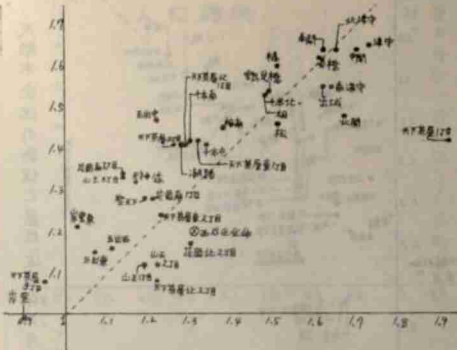
20,000



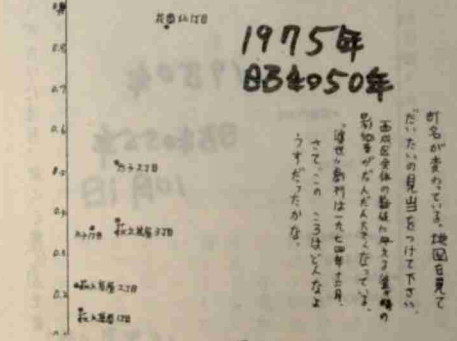
⑧ 西成区

1:15,000

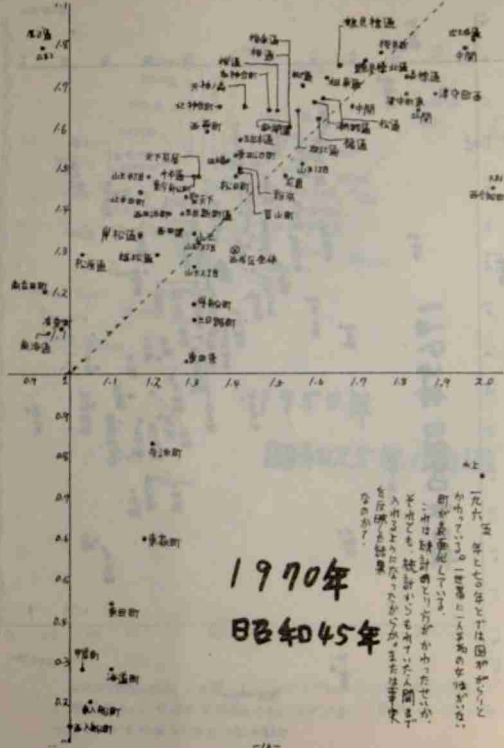




1975年
昭和50年

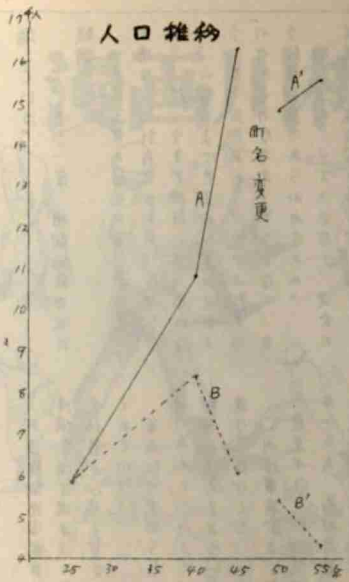


1970年
昭和45年



一九六五年と七〇年の間は国勢がぐらぐらと
かたまりである。一帯帯に一人もあつた者があつた。
町が合併してしまふ。
これは統計上でも若干の差があるが
平均でも、統計的にも若干の差がある。
入付るようになった。たぶん、または半実
を反映した結果
なのかも。

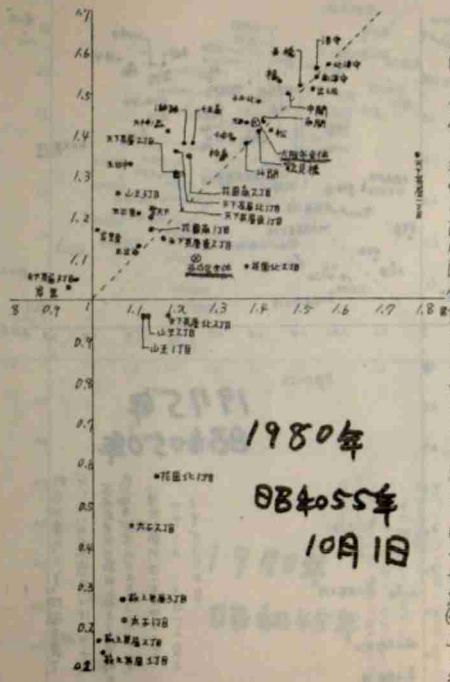
町名が変わつてしまふ。地図も変わつて
だいたいの見出しをつけて下ろさ
よ。西の区界の数は、同じく、
昭和四年が大人だんに入つて、
昭和四年の数は、一九七四年十月、
まで、この、二は、どい
うすだ、たがな。



左グラフのAは合池・東萩・東田・甲岸・海道・東入船・西入船・幸船の男の合計、Bは同じく各町の女の合計。

Aは天下林屋北二丁目・坂園女一・二丁目・太子一・二丁目、萩えき屋一・二・三丁目の男の合計、Bは同じ各町の女の合計。

男についてみると、昭和二年から四年の十五年間かけて五千人増えたものが、四〇年から四五五年までの五年間に更に同じ五千人急



大阪市全体の数値と西成区全体とのへだたりに注目。良くも悪くも差。

大塚野の崎

端している。

さて、もう一度、相関図表を出た疑問を。

一九六五年から七〇年にかけての尾場は、統計方法がかわったから、あるいは、今まで統計にあらわれなかつた部分までもまめに集計するようになったため、グラフ上にあらわされたものなのか、どうでなく、ある程度現実のあらわれなのか。

統計上のイタズラでなく、現実の反映だからならば、単身化の激まりと男性人口の急増の時期が一致する。更に、この時期は、万博の準備期で、山登りは、釜は今やマンコの黄金期にある、とウワサされていた。

万博博覧会事業費は九千億円、万博協会は会場建設に最低時二万人の労働者が必要と算定、人集めに奔走したという。

釜のトヤ主たちは収容量を増やしより多くをうけるために、一階五二階分を使えようとし、一畳の個室造りにはげんだ。

これは夢であつたらうか。東京オリンピックビック翌年の昭和四〇年十二月、山登りは最大の一万五千人となり、元年後には八千三百人となつている。

現在の釜の状況では、かた人が減つて行くだろう。炊爨は道具箱の道具では、決してないのだ。が……。

柳川漫画

